

市町合併

地区座談会開催

4月16日に開催された「第3回宇都宮地域合併協議会」で、報告された市町建設計画（中間案）について説明し、皆さんと意見交換することにより今後の合併協議に役立てるため、4月20日から5月19日まで町内を8地区（8回）に分け、地区座談会が実施されました。

座談会では、先月の広報でお知らせした「市町合併の効果」、「合併後の姿」や「将来のまちづくり」などの説明に対し、参加した自治会の代表者からは、感染性医療廃棄物中間処理施設に関する事項を市町建設計画に入れるべき等の意見や、今後のまちづくりについて多くの質問が出されました。

市町合併が具体化してきたことで、参加者からは不安を感じる意見なども多く出され、毎回夜遅くまで熱心に意見交換が行われました。

座談会で出された質問と回答の一部をお知らせします。



Q 役場に行った時、知らない職員が対応することになるのですか。

A 地域自治制度を検討しており、現在の2/3の100人程度で住民サービスが行えるよう要望しています。対応する職員も、現在の職員で対応できるように併せて要望しています。

Q 保健、福祉などの施設は、全域の利用ができるのですか。

A 全域の施設が利用できるようになります。

Q 消防、警察はどうなるのですか。また、本郷台整備に伴う駐在所の設置の予定はどうなるのですか。

A 消防団は、宇都宮市に統合され、本町はひとつの分団となります。常備消防は、石橋地区消防から宇都宮市消防となり、上三川分署は宇都宮市管轄となります。町北部は南消防署により強化され、町南部の対応は上三川分署の機能強化を要望しています。全般的には、市消防の先進的な通報システムのメリットが受けられることになります。



警察署の管轄エリアは、当面変更はないと思われます。本郷台の駐在所は、今後も警察署に要望していきます。

Q 編入合併ということで、何でもかんでも宇都宮ペースで行われると困ります。農集排の分担金は上がるのですか。

A 農集排は、この後は東部地区、南部地区だけです。分担金は、現行の30万円協定を進めています。

Q 坂上は、南のはずれにあります。子どもも少ないし、上下水道の普及率が極めて低く、宇都宮市と合併すると忘れ去られるという不安があります。

また、感染性医療廃棄物中間処理施設の問題を片付けないで、合併はありえないと思います。



A 上水道の計画は、坂上が17年度予定、三本木は18年度に予定しています。下水道の計画は、三ツ家を含む7自治会は農集排で実施していきます。16年度に説明、17年度に調査設計、18年度には、一部着工したいと考えています。

中心部から外れたところが寂れないよう地域自治制度、市町建設計画となるよう強く要望していきます。医療廃棄物の問題は、宇都宮市長が受け継ぐので十分話をしてあります。ここでは、医療廃棄物の問題は意見として承っております。

Q 宇都宮市は上下水道が維持管理の時代に入っており、今後、老朽化に伴い費用がかなりかかってくると思われるので、上三川まで回るのか心配です。また、今後の計画はどうなるのですか。

A 上下水道は、認可されているものは現状のまま進めていきます。その後は、宇都宮市の計画を進めることとなります。しかし、上三川の計画を最大限尊重してもらいます。

Q 合併により総合計画は作ってあっても縮小されないのですか、また、市町建設計画は他の2町でも作ってあるのですか、それは財政とリンクしているのですか。

A 総合計画は、宇都宮市が平成18年度まで、3町が平成17年度まで作成してあります。

合併の時期を平成17年の3月に予定しているので、平成17年度以降は市町建設計画に基づき進めることとなります。インフラ整備は、市町建設計画に入っているものを優先的に進めることとなります。

Q 宇都宮市では、国民健康保険の前納報奨金がありますが、その制度はどうなるのですか。

A 国保の料金は、現在宇都宮市のほうが安くなっていますが、今後値上げが予想されます。国保の前納報奨金は宇都宮市でも、無くす方向で検討されています。

Q アンケートが民意となるのですか。

A 過去にアンケートを2回行っています。1回目は有権者の約3%の700人、2回目は一昨年の12月に有権者の約半数の11,000人を対象に実施しました。統計学上は3%で足りることになっており、十分に民意を把握したと考えています。

Q 財政状況は、全国的に見ても良いのに、編入合併を選ぶのは珍しいケースと思いますが理由をお聞かせください。

A 宇都宮市との合併の場合、自治体の規模に格段の違いがあること、また、編入合併の良さは、期間が限られた中で協議がスムーズに



進むと言うことです。次に、編入される側に事業を厚く行うという点です。ただし、デメリットとして考えられることは、まちづくりを、編入する側に合わせる点となります。

Q 合併の理由にアンケートがあったと思いますが、情報が乏しい中でアンケートであり、あの時点と現在では、住民の意識に変化があるので、再度アンケートの考えはないのですか。

A 町としては、アンケート実施前に広報、座談会等を通じ、合併が叫ばれている背景や、いくつかのパターンによる合併のシミュレーションをお示しするなど、可能な限り情報の提供を行ったつもりではありますが、ご批判は真摯に受け止

めたいと考えています。今後アンケート又は、住民投票を行うとした場合は、組み合わせではなく1市3町の合併の是非についてということになると考えています。ただし、最終的な判断は議会がすることになります。先進地の例では、住民投票は議会提出前に行い、議会は結果を尊重することにはなりますが、法的拘束力は持たないというものです。住民投票には、有権者の50分の1以上の署名により、条例の制定の請求をおこない条例に基づき実施する方法もあります。

Q 住民負担は、高くなるのですが、安くなるのですか。

A 現時点で比較すると、高くなるものと安くなるものがあります。ただし、サービスは約8割が向上すると考えています。また、急激に負担増となるものは、段階的に合わせていくことで調整を行っています。さらに補助制度も格段に宇都宮市のほうが優れています。負担とサービスの関係から考えても、メリットはあるものと考えています。

Q 地域自治制度をできるだけ充実して、住民ニーズに応えられるようにしたいです。



A 約2100ある事務事業のうち、現在、3分の1の約700の事務は地域行政機関で行うことで方向付けがされておりますが、町の考えとしては3分の2の事務事業について、地域行政機関に残したいと考えており、現在、調整を進めています。できるだけ町民の皆様にご不便をおかけしないような形で調整をしていきます。

Q 上三川という名前が残るような形をお願いしたい。

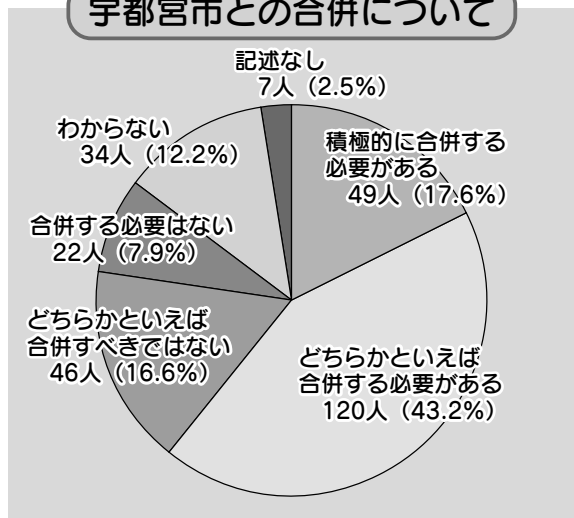
A 住所については、大字をとった形になると考えています。例えば宇都宮市上三川町とか宇都宮市上蒲生町とかになります。ただし、天神町は、宇都宮市に天神と言う地名があるため、宇都宮市上三川天神町となるものと考えています。

市町合併座談会アンケート結果

今回の座談会終了後、出席者の皆さんにアンケートを協力していただきました。そのアンケートの結果をお知らせします。

| | |
|----------|-------|
| 住民出席者 | 322人 |
| アンケート提出者 | 278人 |
| アンケート回収率 | 86.3% |

宇都宮市との合併について



合併に賛成・反対

